

ホームランニュース

http://funabashi-gakudou-baseball.jp

発行 船橋市野球協会少年学童部

第三回船橋市春季市民大会



平成二一年度第三回船橋市春季市民大会少年学童の部は三月二十九日に開会式が行われ、試合は四月五日より始まりました。

今年はAリーグ四二チーム、Bリーグ四三チームの参加により、五月四日の決勝戦まで熱戦が繰り広げられました。

平成二一年度 功労者表彰

今年度の功労者表彰は、例年どおり春季市民大会開会式終了後に行われました。

今年度は運動公園球場が改装のため、高瀬D面での表彰となりました。表彰は、四名の方々に大沢野球協会会長より感謝状が贈呈されました。(対象者は別掲のとおり)

佐藤 健一	高郷 スターズ
國分 清治	牡鹿台ディアーズ
高田 健	塚田 クラバ
花田 幸雄	塚田 クラバ
長谷川祐二	塚田 クラバ
仁平 滋	西海ドラゴンズ
中村 吉保	F T
永野 浩	F T
小村 和幸	八木が谷ノンコ
岡田 健治	さざんかボニーズ
五十川 陽	さざんかボニーズ
成瀬 富雄	ツインドルフィンズ
小林 正明	夏見台アタックス
近藤 賢一	夏見台アタックス

Aリーグは混戦

夏見台	2	2	0	0	1	0	0	0	0	5
田喜	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3

Aリーグはシードの3チームが一回戦で敗退するという混戦で始まり、決勝戦は夏見台アタックスとシードチームで唯一勝ち残った田喜野井ターキーズの対戦となりました。

初回アタックスは相手エラーに五番稲森君のヒットを絡め二点を先制、その裏ターキーズもエラーで出塁した先頭打者が足を活かし、二番岡野君のヒットで一点を返した。二回に



も二点を加えたアタックスに対し、出塁するものタイムリーが出ないターキーズは投手が変わった四回に二点を返し、一点差にまで追いついた。立ち直ったアタックス投手を打ち崩せず五対三で夏見台アタックスが五年ぶり二回目の優勝を果たしました。

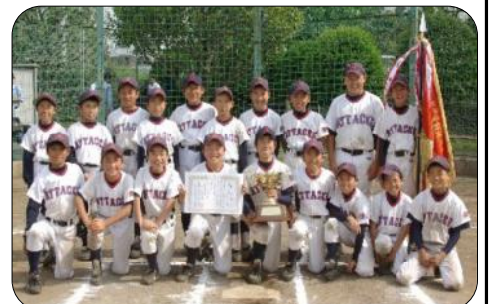
準優勝は田喜野井ターキーズ、三位は前原エイトマン、塚田クラブの二チームでした。なお、優勝したアタックスは全日本学童千葉県予選に、準優勝のターキーズは関東学童千葉県予選に出場することが決まりました。また、ベスト4の四チームは夏に行われる「千葉日報杯」に出場します。

Bリーグは打撃戦

田喜	F	3	0	1	1	0	1	6	12
夏見台	1	0	0	0	3	3	2	9	

Aリーグに先立ち行われたBリーグの決勝戦は、昨年の低学年大会優勝の夏見台アタックスと今大会安定した戦いを見せてきた田喜野井ファイターズの対戦となりました。

初回、先攻の田喜野井は一点を取り、なお二死一・二塁で6番石田さんのセンターオーバリーの三塁打で二点を追加。幸先のいいスタートを切った。対する夏見台もさかさず一点を返したものの、三回、四回に一点づつ取られ、じわじわと差はひろがる。5回アタックスはファイターズの投手交代を機に打者一巡の猛攻で三点を追加、続く六回にも打者一巡で三点を取りついに逆転。しかしファイターズも七回表に打者十人を送り六点追加のビックイニングに、夏見台の反撃を二点に抑え、初優



Aリーグ優勝 夏見台アタックス



Bリーグ優勝 田喜野井ファイターズ



Aリーグ準優勝 田喜野井ターキーズ



Bリーグ準優勝 夏見台アタックス

平成二一年度 学童部総会

三月五日(日)船橋市運動公園会議室において、平成二一年度学童部定期総会が所属チームの代表が出席して開かれました。

議題は、平成二〇年度事業報告ならびに会計報告、平成二一年度事業計画ならびに予算計画等でしたが、いずれも満場一致で承認されました。

なお、友和ベガサスが部員不足のため休部の申し出があり、今年度は四二チームでのスタートとなりました。

また、今年度は役員の変更はありませんでしたが、岡本南部支部長が新たに県連盟に派遣されました。

第42回少年少女交歓会

さわやか野球教室

第四二回を迎えた、少年少女交歓会が五月十日(日)夏見の運動公園で行われました。

今年度は好天に恵まれ、開会式が始まるころには駐車場がすでに満車になるといふ出足の良さも伺われました。

少年少女交歓会では恒例となった「読売さわやか野球教室」は開会式終了後チームごとの記念写真撮影をしたあと、投手組は野球場フルベン、野手組は野球場が国体に向けて改装中のため自由広場と別れて開催されました。

今年の講師は元投手の鹿取義隆さんと水野雄仁さん、元内野手の上田武司さん、元外野手の西岡良洋さんの四人の巨人軍OBでした。この日は学童部所属の四二チームとリトルリーグの二チームの部員約二〇〇名が三時間にわたるベースボールの基礎をしっかりと教わりました。



平成21年度 船橋市学童部所属選手数一覧

船橋市野球協会少年学童部				
	チーム名	計		
東部	薬丸台ブラックジャガーズ	21	南部支部	
	薬丸台リトルスターズ	38		
	高郷スターズ	57		
	前原エイトムン	47		
	みゆきファルコンズ	19		
	習志野サンデーズ	22		
	習志野台ワンパクス	44		
	ホワイトビーストロンク	33		
	西習志野グリーンファイター	65		
	前原サンライズ	47		
	田喜野井ファイターズ	30		
	習志野台スターズ	47		
	三山スワローズ	26		北部支部
	友和ベガサス 休部			
	田喜野井ターキーズ	40		
	三山パワー	18		
ソイन्दルフィンズ	45			
習志野台赤トンボ	30			
東部支部計		629		
西部支部				
法典コンドル	57	八木が谷ノンコ	18	
藤上ベアーズ	26	さざんかのバニーズ	43	
社鹿ディアーズ	56	坪井バンデッツ	30	
丸山ベアーズ	27	神保イーグルス	13	
西船ウィングス	54	小室ライオンズ	24	
小栗原ベアーズ	53	二和タイガース	49	
球田クラブ	63	大穴ベガサス	40	
西部支部計		336	北部支部計	
			21年度計	1,677
			20年度計	1,724
			19年度計	1,646
			18年度計	1,539
			17年度計	1,424
			16年度計	1,347

NPO選抜大会
第7回目を迎えた千葉県少年野球地域選抜6年生大会は、平成20年12月6、7日の両日千葉市を中心に開催されました。今回からこの大会は、協賛の株式会社メッセのご厚意によりマリンスターシアムを使用できることになりました(本来は前年から予定でしたが、球場工事中のため使用できなかつたため)。



6日、マリンスターシアムで行われた開会式に新調したユニフォームで参加した船橋選抜チームは、マリンスターシアムで試合ができることを目指し(抽選の関係で

平成二一年度の学童部所属の選手は一六七七人で昨年度より四七人減少しています。全体での単純平均では一チーム当たり約四〇人となりますが、最小二人から最大九九人とチームによってかなりの開きが見られます。五〇人以上所属するチームは一チームありますが、二〇人以下のチームが五チームあります。今年度部員不足のため、友和ベガサスが休部しましたが、全体的に見ても低学年の少ないチームが多く、底辺を上げていくことが今後の課題と思われまふ。

なお、女子部員は全体で三九人いますが、この五年間で最少となつていふます。(このデータは3月中頃のものです。現在は部員数は増えていると思われまふ)

準決勝から)稲毛海浜公園球場で1回戦、八千代地域選抜との対戦に臨みました。

八千代選抜は1回の裏ヒットで出塁した先頭打者を4番がスクイズで返し1点先制。続く2回裏、四球、三塁打、スクイズで2点追加、4回裏にもエラーからみで1点を追加した。一方、船橋選抜は2回、4回、5回とヒットでランナーを出すものの、後が続かず無得点。6回にレフト前ヒットで出塁した1番阿部君を二番宮本君がチーム初の長打となるレフトオーバーの三塁打で返し反撃を開始。4番石坂君のヒット、相手チームのバッテリーエラーでこの一回一挙3得



平成二〇年度の学童部最後の事業「支部対抗戦」・優秀選手表彰」と船橋市・八千代市の「女子オールスター戦」が一月二三日若松公園球場において行われました。

平成20年度優秀選手一覧

順位	名前	所属
1	北郷 大生	習志野台ワンパクス
2	六反 翔	習志野台ワンパクス
3	植村 航太	小栗原ベアーズ
4	大島 将太	小栗原ベアーズ
5	竹中 洸	見台アタックス
6	亀井 謙	見台アタックス
7	阿部 詢也	みゆきファルコンズ
8	松原 敦也	みゆきファルコンズ
9	池上 肇	西海ドラゴンズ
10	杉山 裕哉	塚田クラブ
11	八木 敦也	習志野台赤トンボ
12	北門 草太	ソイन्दルフィンズ
13	平川 拓	みゆきファルコンズ
14	丸高 巧輝	習志野サンデーズ
15	青木 祐	習志野台ワンパクス
16	西田 廣	ホワイトビーストロンク
17	村上 慧	習志野台赤トンボ
18	宮本 将大	塚田クラブ
19	栗尾 耕聖	丸山ベアーズ
20	吉田 聖	丸山ベアーズ
21	数崎 雅哉	見台アタックス
22	榎本 慶太	宮本ヒーローズ
23	石澤 竜也	海神スパローズ
24	深村 征史	緑台イーグルパワー
25	田村 和	西海ドラゴンズ
26	吉田 大	海神スパローズ
27	多勢 太一	大穴ベガサス
28	嶋田 智哉	坪井バンデッツ
29	佐藤 伊吹	八木が谷ノンコ

点、1点差に詰め寄りましたが、その裏1点を返され、最終回の攻撃も3者凡退に抑えられ、結局3対5で試合終了、前回に続き1回戦突破はできませんでしたが、セレクションによる選手の選抜も今回で3回目ですが、他の地域ではかなり前から選出し、練習もいつばいやつて大会に臨んでいるところもあるというところです。船橋でも選抜チームの編成方法や練習についてさらに検討を重ねたいと思ひます。

なお、今大会は千葉地域A・Bが決勝に進み9対5で千葉地域Bチームが優勝しました。

優秀選手表彰は、例年と同じく支部対抗戦勝戦前に行われました。受賞者一人ひとりに河崎理事長からメダルが授与されたあと、「あなたたちは、技術も優れ、みんなの模範となる選手ということで表彰されました。学童野球を卒業した後も、中学・高校と野球を続け、近年、ドラフトで指名される学童出身者も増えていふので、君たちもぜひプロ野球選手を目指して欲しい」との挨拶がありました。

二〇年度の受賞者は別掲のとおりです。

(田辺義尚)

支部対抗は抽選の結果、1回戦は前年決勝戦と同カード、西部支部と北部支部の戦いになりました。B面で行われた試合は、同点のまま決着がつかず支部長のジャンケン対決となりました。西部支部は優勝した昨年に引き続いで1回戦ジャンケン対決でしたが、今回は北部支部長に軍配が上がりました。

A面で行われた1回戦もう1試合は、東部支部が先制し、南部支部の終盤の追い上げをかわし3対2で決勝戦に進みまふた。

優秀選手表彰後に行われた決勝戦は、後攻の北部支部が初回に3点を先制、その後も追加点をあけて優位に戦いを進めましたが、終盤東部支部が激しく追い上げ最終回に3点を奪い、その裏の攻撃を0点に抑え1点差で逃げ切り三年ぶりに優勝しました。

二〇年度の結果は以下のとおりです。優勝 東部支部、準優勝 北部支部、第3位 南部支部、第4位 西部支部

20年度 支部対抗 優秀選手表彰 女子オールスター

女子オールスター

船橋	八千代
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
4	0
1	0
X	1
5	1

支部対抗

	東部支部	西部支部
1	3	0
2	0	1
3	0	1
4	1	0
5	0	1
6	0	2
7	1	0
8	0	3
9	0	0
10	0	1
11	0	1
12	0	0
13	0	1
14	0	0
15	0	1
16	0	1
17	0	2
18	0	3
19	0	0
20	0	1
21	0	1
22	0	0
23	0	1
24	0	0
25	0	1
26	0	1
27	0	1
28	0	0
29	0	1
合計	5	6

二〇年度の八千代市親善女子オールスターゲームは終盤大量点を挙げた。



八千代市との女子オールスターの初めは、平成二二年IBA船橋の女子選手団がフィリピンのマニラより少女チームを招聘、大和田スカーレット(女子単独チーム)を交え薬円台公園に於いて親善大会を開催、それを機に河崎理事長のご厚意により毎秋、学童部支部対抗当日、若松公園で開催されています。

オール船橋レディーとは学童部加盟の各チーム女子選手5・6年生による編成で八千代市とのオールスターのほかIBA女子選抜関東大会及び千葉県少女大会にも出場し、両大会で優勝7回、準優勝5回というすばらしい成績をあげていふます。少女達は嬉々としてグラウンドに集ります。ふだん男子に交じって紅一点の女の子ばかり、すぐみん仲良しになり中学に行つても交際がつづき多くの母親から感謝のことばを戴いていふます。今季の5、6年生は一八名、監督の私は今から諸嬢と会うのを楽しみにしております。

(荒井義一)